

日本共産党

天王台後援会ニュース



〈天王台、東我孫子、高野山、泉、下ヶ戸、岡発戸、柴崎台、柴崎、青山台、青山、南青山地域〉〈部内資料〉

住所 270-1138 我孫子市下ヶ戸1825-19-103 電話 7184-2670, 発行責任者 中村良雄

衆議院選 共産党宝の4議席確保

南関東ブロックで志位議長の議席を守り、畑野君枝さん当選!

ご支援ありがとうございました

共産党は高市政権の「戦争国家」づくりと対決、暮らし・平和・人権を守ります

衆議院選挙は2026年2月8日投開票で実施され、共産党は比例区で4議席を確保しました。比例区、南関東ブロックでは314, 224票、得票率4, 24%を得て引退した志位議長の後任としてはたの君枝さんが帰り咲き議席を確保しました。さいとう和子さんは千葉県で先頭に立って頑張り抜きましたが及びませんでした。共産党は前回の総選挙から残念ながら4議席後退しました。

今回の選挙では、自民党が3分の2の議席を占める圧勝という結果になりました。さらに補完勢力である右派政党が議席を伸ばし、憲法を守る政党が後退しました。しかし、国民が高市極右政権の中身を信任したものではないことは明らかです。高市首相は選挙本番中のNHK党首討論を欠席し、多くのメディアの党首インタビューにも答えず、「国論を二分する政策」と言いながらその中身はほとんど語りませんでした。312議席と3分の2を超える議席とは云え、自民党の比例投票率は36.73%で

す。それで7割を超える議席を得たのは小選挙区制によるものであり虚構です。

自民党とその補完右派勢力が多数議席によって、大軍拡による戦争準備や「非核3原則」見直し、「民主的国民を弾圧するスパイ防止法」制定、憲法九条改悪などの戦前回帰の反動政策を強行するならば、国民に甚大な不幸をもたらします。

日本共産党は選挙公約に掲げた「暮らし・平和・人権」を守るために全力をあげ、ブレずに国民のためにブレずに働くことを言明しています。

多くの識者から、力をあげると言明しています。

多くの識者は「共産党の4議席は一筋の希望」「民主主義の歩みは止まらない」「ファシズムに地域から対抗」「暴走阻止へ幅広い共同を速やかに」「左派の中軸は共産党」など激励やコメントが届いています。

あらためて後援会員の皆様のご支持を頂いた皆様のご協力に感謝しつつ、なお一層のご支援を申し上げます。(天王台後援会 会長 中村良雄)

日本政府が4年間で増額した軍事費「4兆円」を (しんぶん赤旗2月1日より) 教育や医療費に回せば何ができるか？

大学の学費を半額にし、入学金ゼロに	1兆4000億円
給付制奨学金を拡充(75万人分)	4000億円
教員定数の抜本増で少人数学級へ	6000億円
国保料(税)を半分に	1兆円
18歳までの子ども医療費を全国一律無償化	6000億円
合計	約4兆円

総選挙の結果から



解散権の乱用では？

議会の解散をするのは、議会から不信任を受け、議会運営ができない時にするものでしょう。

今回は、不信任も出ていない国会を解散する意味はないはずです。予算案を審議をする大事な国会を開かずに解散総選挙というのは、おかしい。

こんな短期間に、しかも寒冷地では、「選挙に行くことは命がけ」というほど。国民の政治参加の権利が奪われたといえるでしょう。

1票の格差も問題だけど今度の総選挙は国民の投票権を奪ったと思います。

これからが怖い

憲法を変えようとしている議員が圧倒的に多いので、これからが心配。

戦争にはならないと思っているようだけど、武器やミサイルをたくさん買っているので戦争するつもりかしらと心配。

自民党に投票した人は、高市首相が考えていることを知っているのかしら。ふわふわとみんなが入れるからと入れたのかしら。憲法は変えさせない、頑張りましょう。

若い人が自民党に入れるのは

大学の学生自治会がなくなったのか、労働組合がなくなってきたことで、政治への関心がなくなったのか。今より悪くならないよう安定を求めるのでしょうか。

SNS やユーチューブのお気に入りのところばかり見ている、テレビや新聞のニュースを見ていないからでしょうか。

自民党のように多額のお金をかけて短い15秒の宣伝を流したところが、勝利したのでしょうか。

選挙の掲示板に名前がない

小選挙区で共産党の立候補者がいないと選挙に行かない人がいたようです。雪もひどくふったので、行かなかった人もいるのでは。

しかし我孫子は投票率が57.63% 千葉県は53.80%

政治意識が高いのですが、共産党の票が少ないのはなぜ？

政党がたくさんあるからわかりにくい感じがしました。

共産党はわかりやすい

キャッチフレーズで言って

共産党の公約は正しいし、国民の立場に立っているけど、難しい言葉で、わかりにくい感じがします。ほかの政党は、よく考えると、実現不可能なことや、本当の意味で、国民の立場に立っていない。しかし、簡単な言葉で、耳障り良くわかりやすく頭に残ります。訴え方の工夫が必要だと思います。

「憲法9条に自衛隊明記反対」より、「自衛隊に人殺しをさせるな」とか、「富裕層に応分の負担を」より「もうけている人から税金を取ろう」身近な言葉で話すとわかりやすいと思います。

皆様のご意見

お寄せください。

Fax 7182-1615

高すぎる国保税、一般会計から繰入れ

連続値上げをやめて!

子どもにも均等割が課される国民健康保険税。全国知事会・市長会も「公費1兆円の投入」を要請して、就学前の子どもの均等割が半額になりましたが、高すぎて滞納する世帯は2割以上あります。国保加入者は、高齢者が45%、個人事業主、非正規など、低所得者が多数です。国保には事業者負担がない分、国庫負担が不可欠です。1961年国保開始当時、国保総収入に占める国庫補助金49、8%でしたが、今や30、6%に激減。そのため加入者負担は増え続けています。また、2018年から国保の都道府県化で「一般会計からの繰入はしない。保険料率を統一する」ことになり、自治体ごとの努力では解決できない状況です。

我孫子市は3年連続で平均20、600円も値上げしました。「払える保険税にする」ため社保協が求めた「国庫負担を増やすように国に求める意見書の請願」を市議会は否決。

3年連続の値上げをした結果、我孫子市の国保財政は今年やっと黒字になりました。値上げはもうしなくて済むかと思いきや、2年前に決まった「子ども・子育て支援法」によって「子ども・子育て支援金」をすべての健康保険料に上乘せすることになり、国保税もこの4月から値上げになります。

子育て支援金の財源は健康保険料でなく、公費(税金財政)でやってほしいですね。

(田中 なつみ)

4月1日から我孫子市の水道料金が値上げされます。

一般家庭の水道は、口径20mmです。2月16日付「特別号」では1か月少ない世帯で500円、多いところは、2000円の値上げになります。そのうえ、9月からは2か月まとめて、銀行引き落としになります。

耐震化、施設の老朽化対策などの理由はわかりますが、国や県の補助金を要求してほしいものです。生活に欠かせないものをこんなに物価高の時に値上げするなんて、市民の生活を守る姿勢が感じられません。

共産党市議団は、値上げに反対してきましたが、自民党系、公明党の議員の賛成多数で、値上げが決まりました。

(天王台 中川美保子)

「第5回 我孫子市議と語るつどい」 主催「市民の声あびこ」

1月24日に行われた「つどい」は、参加者50人で、我孫子市議7人の方が参加しました。この会は、2023年に当選された我孫子市議の方々が任期4年間の半分を過ぎて、どのように活動されたのかをお尋ねし、市民が問題に感じていることを共に考えようと企画したものです。24人の市議にアンケートをお願いしたところ、11人(45、8%)から回答がありました。

今回のつどいでは「リサイクルセンター建て替え問題」を取り上げました。

明らかになった問題点は以下の通り。

- ① 予算額が90億円を超えること。…さらに高額になる可能性あり。
- ② 現在のリサイクルの方法が変わるのか。…ほぼ変わらない。
- ③ 今やらねばならないのか。…国から出るお金との関係があるが、高額なものを建てる縛りはない。
- ④ 議会にかける前にほぼ決まったものが出されるため、反対が通らない。

…市長は行政として立案執行するが、議会はそのチェック機関であるはずである。

参加者から、高額な予算を立てる時は市民に丁寧に説明する市政であってほしいと要望がありました。

(文責 中川美保子)

2026年我孫子革新懇「新春のつどい」開催

高市政権の危険性と革新懇の課題

真実を学び知らせれば、政治は変えられる

五十嵐仁さん講演

我孫子革新懇は2026年1月27日、我孫子市民プラザ・ホールにて「新春のつどい」を開催しました。

講師に招いたのは、全国革新懇代表世話人・法政大学名誉教授五十嵐仁さん。衆議院選挙公示日にも関わらず、我孫子市内外から78名（講師を含む）が参加しました。

五十嵐さんは初めに、激動する歴史の転換点における極右ポピュリズム台頭の危機、アメリカトランプ氏のドンロー主義支配と国際法無視によるアメリカの混乱と没落を話しました。

続いて、高市極右政権の外交の政治利用を批判し、台湾有事での自衛隊の参戦、中国を名指しての先制攻撃を宣言することの危険性を指摘しました。

さらに、経済の再建と民主主義擁護を強調して、右傾化を是正するには真実を学び知らせることが大切と話し、政治は変えられる、変えてきた、諦めてはならないと結びました。

（天王台 YN 生）



映画「黒川の女たち」監督 松原文枝さん講演会

満蒙開拓団の史実と尊厳の回復
～過去の責任を引き受けることが未来を開く～

日時 3月28日（土）

午後2時30分～4時30分（開場午後2時）

場所 あびこ市民プラザ・ホール（我孫子駅北口）

あびこショッピングプラザ3F

参加費 700円（学生無料）

先着200名（事前申し込みは不要）

主催：ピースアクション我孫子 あびこ女性会議 我孫子市九条の会

後援：我孫子市 我孫子市教育委員会

連絡先 090-5193-0601（井上）

